



平成 26 年 5 月 30 日

各 位

会社名 株式会社東京衡機
(旧社名 株式会社テークスグループ)
代表者名 代表取締役社長 山本 勝三
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 取締役副社長 平岡 昭一
(TEL. 042-780-1650)

平成 26 年 2 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日平成26年2月期決算短信の開示を行いました。当該開示が決算期末後50日を超えた理由および改善への取組みにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 2 月期決算短信の開示が決算期末後 50 日を超えた理由

当社は、これまで決算期末後遅くとも 45 日での開示に向けた体制で決算作業を行ってまいりましたが、平成 26 年 2 月期決算につきましては、平成 26 年 4 月 16 日付「平成 26 年 2 月期決算短信の発表の延期に関するお知らせ」および同年 5 月 12 日付「過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等の訂正に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、決算作業の過程で、過年度の決算に会計上の見積りの誤りがあったことが判明したことから、過年度に遡って会計処理を訂正し、過年度の有価証券報告書、四半期報告書および決算短信等を訂正することとなり、決算の確定が大幅に遅れ、決算短信の開示が決算期末後 50 日を超えるに至ったものであります。

2. 改善への取組みについて

当社といたしましては、平成 26 年 5 月 29 日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出および過年度に係る決算短信等の訂正版の公表に関するお知らせ」に記載のとおり、過年度決算の訂正および決算発表の遅延が関係各位に多大なご迷惑をお掛けするものであることを深く反省し二度とかかる事態が起きることのないようにするために、以下の再発防止策を策定・実行し、会計監査人と緊密な連携を取りつつ、決算発表の早期化に向け社内体制の整備・充実を図り、皆様の信頼回復に努める所存であります。

- ① 決算財務報告プロセスの見直し
- ② 決算レビュー委員会の設置
- ③ 会計上の見積り等決算業務に関するモニタリング強化
- ④ 経理体制の拡充およびスキルアップ

株主の皆様はじめお取引先および関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますこと深くお詫び申し上げます。

以 上